



## 大地震のゆれがおさまったあと、気をつけることは何なの

### たおれかかった建物に注意する

大地震が起こったあと、引き続き震源(地震が起こった所)付近で、数多くの地震が起こることがあります。これを余震といいます。余震の数は、1日に数百回になることもあります。また、2～3年にわたって続くこともあります。

余震は、時間や日にちがたつにつれて、地震の大きさや地震の数が、だんだん減ってきますが、最初の地震で、たおれかかっていた建物が、余震でたおれたりすることがあるので、しばらくは、じゅうぶんに注意します。

それに、大地震で受けた心のショックは、大きなものです。このショックから、早く立ち上がるように、気力もちつづけます。

### 被害の情報をつかむ

地震による、大きな被害が出たときには、正しい情報をつかむことです。そのためにもけい帯ラジオは、必ず用意しておくようにします。

ラジオによって、地震の大きさや、被害のようすなどがわかります。それによって、自分の住んでいる所が、安全なのかどうか、どこへいけば、水や食べ物を手に入れることができるのか、どうかなどがわかります。(監修・国司 真)

